

1 第7期 ソフィール協会総会を開催
2017. 5. 25 アスト津(三重県津市)

第7期 ソフィール協会総会及び勉強会を開催
全国各地より20社(34名)の皆様に出席頂きました。また、新規正会員として株式会社本久(長野県)、株式会社リボン(熊本県)の2社が加入され、ソフィール協会の正会員は30社となりました。
勉強会では昨年より新たに取り組んでおります「地上設置型ソフィール」と「雨水貯水システム(アメリオ)」の紹介、昨年実施されました環境省環境技術実証事業『自然地域トイレし尿処理技術実証試験』、昨年度のソフィール納入事例の発表を致しました。今後も協会員共々ソフィールの普及と新技術に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



2 防犯防災総合展 in KANSAI 2017 に出展
2017. 6. 8~9 インテックス大阪(大阪府)

ソフィール、地上設置型ソフィール、雨水貯水システム(アメリオ)を防犯防災総合展(インテックス大阪)に出展
大阪府で開催されました展示会に「防災公園・広域避難所などで処理水を循環利用の出来るソフィール」、「移動可能な地上型ソフィール」、「防災時にはさまざまな用途で雨水を活用できる雨水貯水システム(アメリオ)」を出展、紹介させて頂きました。本展示会では、初出展ながら防災ということで皆様の関心も非常に高く、多くの来場者の方々にブースにお立ち寄り頂き製品のPRをさせて頂くことが出来ました。



【展示会データ】日 時：平成29年6月8日(木)~6月9日(金)
場 所：インテックス大阪(大阪府住之江区) 出展数：116社・機関
来場者：17,766人(2日間)

3 「地上設置型ソフィール」のプレリリース発表会を開催
2017. 6. 14 糸満市役所(沖縄県糸満市)

6/14に糸満市役所にてプレリリース発表会を開催しました
光建設(株)(沖縄県)、(株)沖創工(沖縄県)、アルコ(株)(三重県)の3社で、上下水道と電気が不要な地上設置型の循環式浄化トイレ「コンテナソフィール(仮称)」のプレリリース発表会を行いました。
土壌微生物が汚水を高度浄化することで再利用でき、浄化槽も太陽光発電で稼働します。コンテナ内に設置され、移動も可能です。16年12月より11月30日まで、糸満市役所校内で24時間後利用頂ける「断水時でも稼働する水洗トイレ」として社会実験を実施しております。当日はRBC琉球放送様、琉球新報様等に取材、ニュースや新聞に掲載して頂きました。
今後も新商品の開発やクオリティアップに努めて行きますのでどうぞ宜しくお願い致します。



◆ お問い合わせ先 ◆

ソフィール協会
三重県津市藤方2254番地1(アルコ(株)内)
TEL:059-213-8811 FAX:059-213-8880
URL:http://sofil-kai.net/
E-Mail:info@alcoinc.co.jp

ソフィール NEWS

7 2017
JULY
vol.11

全国185カ所に導入!
環境型トイレ浄化槽!

特集
ETV

環境省 平成28年度環境技術実証事業
自然地域トイレし尿処理技術分野
実証試験結果報告
新規会員紹介
[正会員]
株式会社本久(長野県)
株式会社リボン(熊本県)

Topics

第7期 ソフィール協会総会を開催
展示会への出展 防犯防災総合展 in KANSAI 2017 に出展
「地上設置型ソフィール」のプレリリース発表会を開催

撮影地:乳岩峡(愛知県新城市)

特集 || ETV 環境省 平成28年度環境技術実証事業 自然地域トイレし尿処理技術分野 実証試験結果報告

実証機関：特定非営利活動法人 日本トイレ研究所
 試料採取・分析・解析：公益財団法人 日本環境整備教育センター
 環境技術開発者：アルコ株式会社
 技術・製品の名称：ソフィール / Sofiil
 (水使用—生物処理—土壌)
 実証試験実施場所：乳岩峡駐車場公衆トイレ
 (愛知県新城市川合字乳岩)
 実証番号：030-1602

環境技術実証事業 (ETV) ロゴマーク

「ETV」とは、環境技術実証 (Environmental Technology Verification) の頭文字を取ったものです。

ETV 環境省

本技術は第三者による性能の実証結果を公開しています。
<http://www.env.go.jp/policy/etv/>
 自然地域トイレし尿処理技術分野
 平成YY年度 実証試験 (No.030-0000)
 平成YY年度 経年実証試験 (No.030-0000)

■ 実証試験データ

試験期間：平成28年8月10日～平成28年12月13日(125日間)
 使用回数合計：12,600回 (125日間)
 平均使用回数：100回/日
 使用電力：0.78 kWh/日
 気温 (最高：32.4℃、最低：-1.8℃)
 積雪 (なし)

■ 処理性能

土壌浸潤槽における有機物除去性能がきわめて高く、トイレ洗浄水として使用される消毒・貯留槽内水の生物化学的酸素要求量 (BOD) が定量限界未満 (ND: 3mg/L未満)、浮遊物質 (SS) が 3mg/L以下と実証期間を通して低く、使用回数と水質の相関は認められなかった。

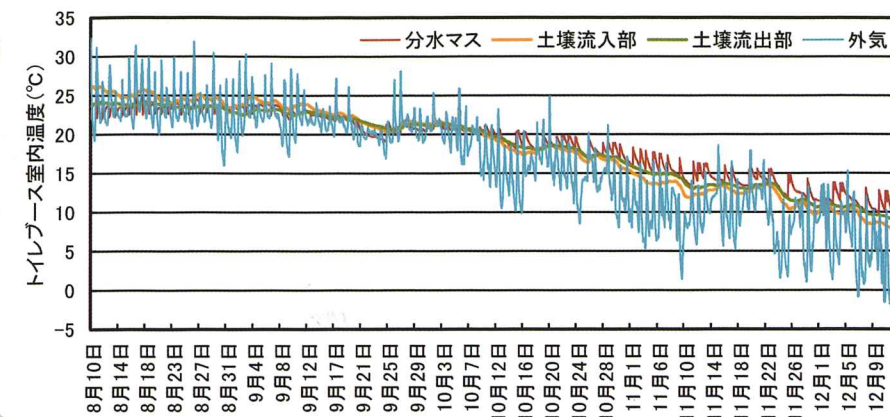


図 6-5-1-1 水温・土壌温度・外気温の経時変化

乳岩峡の風景

本実証装置は、固液分離槽と嫌気ろ床槽での嫌気性処理と土壌浸潤槽での好気性処理を組み合わせた生物学的処理方式である。固液分離槽、嫌気ろ床槽を自然流下で通過した嫌気性処理水を流量調整機能付きの送水ポンプ槽に貯留し、所定時間間隔で間欠的に土壌浸潤槽へ移送し、土壌微生物により生物学的処理が行われる。本実証装置は、国土交通省の浄化槽の一般認定を取得している『ソフィール』の処理水をトイレ洗浄水として循環利用するシステムである。



環境省、技術実証検討員、実証機関、試料採取・分析解析機関が現場検討実施

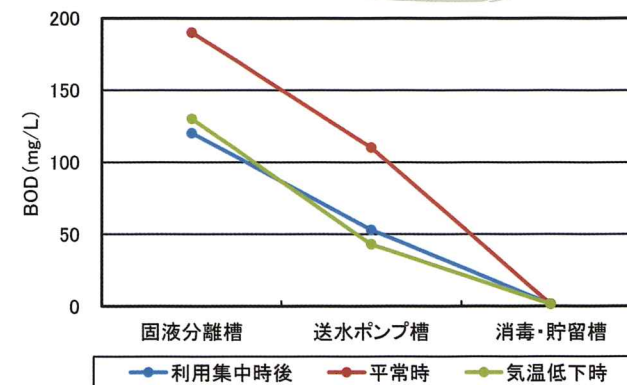


図 6-5-2-2 BODの推移

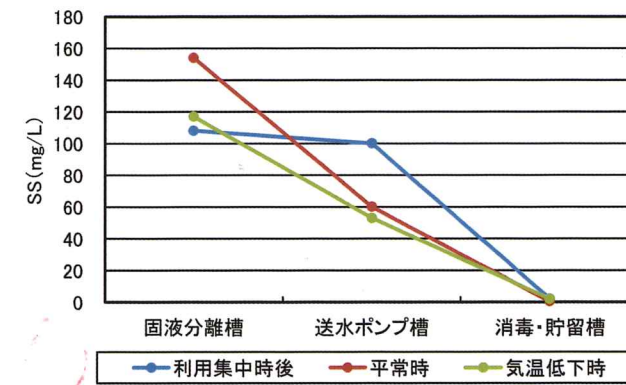


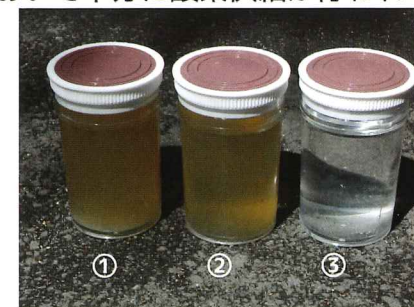
図 6-5-2-1 SSの推移



透視度の測定状況

- 固液分離槽流出水は黄土色で送水ポンプ槽流出水は黄土色、薄茶色を示したが、消毒・貯留槽内水は無色であり、濁り、臭気も一切感じられなかった。
- 送水ポンプ槽流出水の透視度は9~10cm、消毒・貯留槽内水の透視度は100cm超で安定していた。
- 固液分離槽から送水ポンプ槽までは水素イオン濃度指数(pH)が8前後を示し、弱アルカリ性であったが、消毒・貯留槽は6前後であり、弱酸性となっていた。土壌浸潤槽で硝化反応が進行した影響と考えられる。
- 固液分離槽から送水ポンプ槽までは溶存酸素(DO)がほぼ0mg/Lとなっており、消毒・貯留槽では高い値を示した。土壌浸潤槽において十分に酸素供給が行われていることが確認できた。

- 実証試験期間を通してアンモニア及び硫化水素ガスが検出されることはなかった。
- いずれの専門維持管理においても消毒・貯留槽内水の大腸菌群数は0個/mLであり、トイレ洗浄水の衛生上の安全性は確保されていた。



左から
①固液分離槽
②送水ポンプ槽
③消毒・貯留槽

新規会員紹介

株式会社本久 管材部 長野支店

〒381-0034 長野県長野市高田1770

TEL: 026-221-4433 FAX: 026-221-2505 HP: <http://www.motoq.co.jp/>

株式会社本久(もときゅう)は長野県長野市に本社を置き、建設資材販売、土木・建設工事、道路舗装材料製造・販売・施工、レジャー事業、コンサルティング事業、ホームセンター経営など事業を多角的に展開し、長野のまちづくりや地域社会に貢献している企業です。長野県でソフィールの営業を管材部に担当して頂いています。

株式会社リボン

〒861-1102 熊本県合志市須屋1753-3

TEL: 096-274-0023 FAX: 096-237-7876

株式会社リボンは、土の専門会社で、球場、公園など用途に合わせて土・砂を取り扱っている企業です。小さいお子様が安心して遊べる砂場から、プロが活躍するグラウンドまで安全・安心な土・砂を届けられています。九州地区で、ソフィールの標準土壌を納入していただいています。

“ソフィール”とは?

ソフィールとは環境に優しい汚水処理システム『土壌微生物膜高度処理浄化槽』です。わずかな消費電力で高度な汚水処理がおこなえ、維持管理が容易でランニングコストが安く、利用者の変動が大きい施設でも安定した処理を行う事ができます。処理水を循環利用することにより防災対応型トイレとしても利用可能で、放流先の無い場所や環境に配慮したい場所にも最適な浄化槽です。

